

**平成 17 年度**

**消防局予算要求方針**

## - 目 次 -

1	平成 17 年度消防局予算要求総括表	1
2	17 年度予算要求にあたっての基本的考え方	2
3	予算要求の重点事項	4
	安全・安心を誇れる街サッポロの創造	
	ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ	
4	事務事業の総点検	7
	事務事業の見直し	
	団体補助金	

# 1 平成 17 年度消防局予算要求総括表

## 【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 16 年度 予 算 額 A	平成 17 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 ( B - A ) / A
総務部	5,901 (4,511)	4,929 (4,187)	972 (324)	16.5% (7.2%)
合 計	5,901 (4,511)	4,929 (4,187)	972 (324)	16.5% (7.2%)

1 派遣職員にかかる人件費を含まず

2 ( )内は一般財源

3 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある。

## 2 17年度予算要求にあたっての基本的考え方

市民のみなさんの生活にとって最も重要なことは、毎日を安全・安心に暮らすことのできる街づくりであります。

近年は、全国的に少子高齢化の進展や国際化、社会経済情勢の変化の中で、災害や事故の形態も複雑多様化、大規模化の傾向を強めております。

札幌市は、全国的にも自然災害が少なく、比較的安全な街と言えますが、救急出動件数の増加やテロ災害への備えなど、消防需用は拡大していく傾向にあります。

消防局は災害対応の専門技術を有する1,800人余の職員と55署・所、約250台の消防車両に代表される機動力、加えて24時間勤務体制という組織力を最大限に生かして、「安全・安心を誇れる街サッポロ」をめざし、次の3つの施策を柱として消防防災体制を充実してまいります。

1 施設・装備等の充実強化

2 火災予防体制の充実強化

3 警防体制の充実強化

## 1 施設・装備等の充実強化

消防・防災活動の拠点である消防施設の改修を行い、災害に強いまちづくりを目指す。

長期使用に伴う機能低下や、更新基準を超えた消防車両の更新を行い、火災出動や救急出動などの災害対応体制の充実強化を図る。

## 2 火災予防体制の充実強化

小学生に対する「教えて！ファイヤーマン」事業にて、「消防のしごと」や防火防災に関する興味関心を高めてもらうとともに、地域の消防の役割を理解してもらう。

連続放火火災の被害が懸念される町内会等の要請に対し、炎感知器を一定期間貸し出すことを通じて、地域ぐるみでの自主的な監視体制を強め、より一層の放火火災防止対策を推進する。

## 3 警防体制の充実強化

救急業務を高度化し、より多くの命を救うために二相性除細動器の導入、気管挿管実施体制の充実、及び薬剤投与実施体制の整備を行うとともに、自動体外式除細動器（AED）を導入した応急手当普及啓発の推進を図る。

大規模地震災害等の発生時における消防水利として、耐震性貯水槽の整備を図る。

### 3 予算要求の重点事項

#### 安全・安心を誇れる街サッポロの創造

#### 1 施設・装備等の充実強化

647百万円(1,475百万円)

注:( )内は16年度予算額

#### ア 消防局庁舎保全改修(総務部) 75百万円【重点】

消防・防災活動の統括的な拠点として位置付けられている消防局としての機能を維持するために庁舎の保全改修を行う事業。

#### イ 消防署所庁舎保全改修(総務部) 105百万円【配分】

消防・防災活動の拠点として位置付けられている署所の機能を維持するために、庁舎の保全改修を行う事業。

#### ウ 山鼻出張所解体工事(総務部) 50百万円【重点】

移転改築後の旧庁舎(望楼含む)を解体する事業。

#### エ はしご車重整備(総務部) 23百万円【配分】

はしご付消防自動車の主要部分の分解整備を行う事業。

#### オ 消防車両購入(総務部) 394百万円【配分】

長期使用に伴い機能低下の著しい等、使用に耐えられない消防車両8台の更新を行う事業。

#### 2 火災予防体制の充実強化

4百万円(64百万円)

注:( )内は16年度予算額

カ 放火火災防止対策（予防部） 4百万円【新まち等、新規】

ハード面での放火防止対策として、連続放火の被害が懸念される町内会等の要請に対し、炎感知器を一定期間貸し出して放火の再発を防止するとともに、自主的な設置・管理を広めていく事業。

### 3 警防体制の充実強化

9 4百万円（8 3百万円）

注：（ ）内は16年度予算額

キ 消防・救急無線再整備基礎調査（総務部）

3百万円【配分、新規】

既存のアナログ式消防・救急無線をデジタル方式へ全面更新するための基礎調査を行う事業。

ク 耐震性貯水槽整備（警防部） 4 0百万円【配分】

阪神淡路大震災を教訓に、大規模地震災害等の発生時における消防水利として耐震性貯水槽を整備する事業。

ケ 救急業務高度化推進（警防部） 5 0百万円【新まち等、レベルアップ】

救急業務を高度化するために、次の事業を行う。

二相性除細動器の導入

気管挿管研修・実習体制の整備

気管挿管関係資器材の導入

薬剤投与講習体制の整備

薬剤投与関係資器材の導入

コ 自動体外式除細動器（A E D）講習推進（警防部）

1百万円【配分、新規】

自動体外式除細動器(A E D)を導入した応急手当普及啓発の推進事業。

ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ

将来のまちづくりを担う子供たちが、「防火・防災・救急」について理解し、家庭や地域社会における火災や事故等を自らが防ぐための意識と行動力を身につけることができるように、「教えて！ファイヤーマン」事業を推進する。

1 自立した市民に育てる教育の推進

2 百万円（2 百万円）

注：（ ）内は 16 年度予算額

ア 「教えて！ファイヤーマン」事業（予防部）

2 百万円【新まち等、レベルアップ】

消防職員が小学4年生の社会科の授業に出向き、児童の「消防のしごと」に対する興味関心を高め、防火・防災・救急の基礎的な知識を広めている事業。



## 4 事務事業の総点検

### 《事務事業の見直し》

#### 内部効率

一般事務費の節約や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

<見直し額64百万円>

施設の保守レベルや、維持管理業務の契約方法の見直しによる経費  
節減

<見直し額49百万円>

本市の環境方針に基づき、冷暖房の抑制などによる光熱水費の更なる節減

<見直し額9百万円>

### 《団体補助金》

減額 1件

(単位；千円)

団体名	17年度予算額	見直し額
札幌防火委員会連合会	2,800	350